

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年6月5日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年6月5日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【協力企業作業員のドライアイスによる背部凍傷について】 Eエアータンクの解体作業に従事していた協力企業作業員が、熱中症対策としてクールベストに保冷剤を装着して作業を実施していたが、休憩後はクールベストに誤って直接ドライアイス装着し作業を実施。 作業終了後、背中にヒリヒリする違和感があったが大したことは無いと思い宿舎に帰宅。 宿舎で同僚に背中を確認してもらったところ赤くなっていたため、病院を受診し背部凍傷と診断され、薬塗布の治療を受けた。 今後、再発防止対策を検討する。 ※本来なら保冷剤の外側にドライアイス(保冷剤を長時間持たせるため)を装着し身体に触れないように使用するルールとなっている。</p>	GⅢ	6月1日